

ブランドスローガン “人が集まる「人」をつくる、大学。”



学長
松重 和美

コロナ禍を克服して、GX・サステナブル社会に向けて

年度末、大学では主要な行事の一つ、卒業式を迎えます。一昨年来の新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大が続き、大学・教育環境も依然として不安で予測がつかない状況が続いています。卒業される皆さんにとっては、遠隔授業や就職活動にこれまでにない不慣れ・不都合さを体験された方も多いかと思えます。しかし、捉え方によっては、学生の皆さんはオンライン授業等の新たな学びの手法を体験し、教職員の方は電子決裁やペーパーレス会議などを実施することになり、来るDX（デジタル・トランスフォーメーション）社会を既に実体験する機会にもなったとも言

えます。

この数年間、社会は一層不確実性が増し、人々の価値観も大きく変化しています。自然エネルギーの採用やSDGsなどサステナブル（持続可能な）社会への取り組みも一層重要視されてきています。このように、大学・学生さんを取り巻く環境は大きく変化する中、四国大学は地域における知の拠点としての重要な役割を、巣立っていく学生の皆さんには、自分自身の成長と共に、これからの社会を支え、その進展に貢献できる人材としての活躍が期待されています。大いに頑張りたいと思っています。



副理事長
山本 光憲

交流プラザ「TAG-RI-BA」の開設に寄せて

本学は2025年に学園創立100周年を迎えます。これまで学園を支えてくださった関係者各位に心から御礼を申し上げるとともに、次の100年に向けて変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

令和3年度は100周年記念事業の一環として、徳島駅近隣施設である四国大学交流プラザのリニューアル改修工事を行いました。1・2階に新たに開設した「Study Cafeteria TAG-RI-BA（タグリバ）」は、多彩な学びの空間を提供するとともに、地域との交流を深め、大学情報を積極的に発信する先進的なコミュニケーションスペースになっています。ちなみに、TAG-RI-BAの「TAG」には、指針、導く、出合いや機会を手繰り寄せるとい

う意味が込められています。（施設の詳細については、3頁の記事を参照してください。）

交流プラザは公開講座や学術講演会、大学の教育研究成果の発表の場として、これまで広く一般の方にも開放してきましたが、新たに誕生したTAG-RI-BAに多くの魅力的な人が集まり、これまで以上に活用されることによって学生や地域の皆様の体験価値が最大化されることに期待しています。

良質な体験は人をつくります。学生の皆さんが「人」と「人」の交流による良質な体験活動と学びを通じて、大きく成長してくれることを願います。

令和3年度 父母会だより



会長
山崎 和喜

会長あいさつ

令和2年に引き続き、令和3年もコロナウイルスによって生活のみならず、大切なものが失われてゆく、そんな一年でした。

とりわけ卒業を控えた学生にとっては、11月での就職内定率が過去2番目という低い数字となり、その厳しさが結果として表れています。世界的に見ても前例のない状況の中、コロナウイルスと向き合いながら、学生の皆さんは懸命に頑張ったことと思います。四国大学に於いても、様々な対策をもって学生の力となれる様、事業を展開して頂いております。

父母会と致しましても、衛生管理を始め、学生生活の充実に向けた内容に、皆様のご協

力のもと、力を注いでおります。

今年度に於きましても、総会をはじめ地区懇談会が全て中止となり、皆様のご意見を直接聞かせて頂く機会がなくなってしまったこと、本当に残念でなりません。役員一同、大学と力を合わせ、今出来ることに最大限努めて参ります。

一日も早く、本来の学生生活が取り戻される日がくることを願うと共に、学生の皆さんには、自らの課題を見極め、対策と準備することを怠らず、一日一日大切に過ごしていただきたいと思っております。

父母会役員会開催

- ・開催日時 令和3年5月31日(月) 15時30分から
 - ・開催場所 四国大学本館3階 特別会議室
 - ・協議 (1)令和2年度事業報告及び令和2年度決算報告について
(2)役員改選(案)について(退任役員に感謝状贈呈)
(3)令和3年度事業計画及び令和3年度予算案について
(4)その他
- 以上協議事項については、承認されました。



父母会臨時役員会開催

- ・開催日時 令和3年7月15日(木) 15時30分から
 - ・開催場所 四国大学本館3階 特別会議室
 - ・協議 (1)令和3年度地区別父母懇談会について
(2)第2回評議員会について
(3)Web電話利用個別相談会(案)について
(4)その他
- 以上協議事項については、承認されました。



令和3年度 四国大学父母会Web・ 電話利用個別相談会

- ・実施日
令和3年9月11日(土)
9月18日(土)
9月19日(日)

令和3年度 YouTubeで大学より配信

今年度もコロナ禍でご父母の皆様にお会いすることができませんでしたが、父母会よりYouTubeで動画配信を2回行いました。

「佐藤一郎理事長」・「松重和美学長」・「山崎和喜父母会長」の挨拶
※限定公開：6月14日～8月30日

「学長メッセージ」及び「就職状況・就職支援について」の説明
※限定公開：10月～11月末日

令和4年度 地区別父母懇談会日程(予定)

沖縄県地区父母懇談会	R4. 6. 26 (日)
香川県地区父母懇談会	R4. 8. 27 (土)
中国地区父母懇談会	R4. 8. 28 (日)
高知県地区父母懇談会	R4. 9. 3 (土)
愛媛県地区父母懇談会	R4. 9. 4 (日)

Study Cafeteria

○ TAG-RI-BA OPEN!

〔タグリバ〕



カフェテリア



コミュニケーションスペース



スタディスペース



コワーキングスペース

四国大学が運営する地域と連携した多目的施設「四国大学交流プラザ」内に、新たな交流拠点「Study Cafeteria TAG-RI-BA（タグリバ）」が令和4年3月に誕生しました。TAG-RI-BAには、カフェテリアやスタディスペース、ディスプレイスペースが設けられ、本学の学生が地域住民と年齢や国境を超えた交流を深め、知と体験を共有できるコミュニケーションスペースになっています。落ち着いた雰囲気のカフェテリアでは、学生自身が企画し創業プロセスや経営を学ぶ

チャレンジショップも開催し、限定メニューのランチや教育研究成果の製品を提供します。

ご利用に際しては、TAG-RI-BA アプリをダウンロードし、会員登録していただくと、お得なドリンククーポンや無料で利用できるスペースの予約、Wi-Fiの利用など様々な特典があります。

お近くにお越しの際は、ぜひ四国大学交流プラザにお立ち寄りいただき、Study Cafeteria TAG-RI-BA を体感してください。

TAG-RI-BA ホームページ <https://www.tagriba.com/>



TAG-RI-BA 無料アプリのダウンロードはこちらから



沖縄オープンキャンパス



今年度、初の試みとして、令和3年6月26日(土)に、沖縄県那覇市にて出張型のオープンキャンパスを開催しました。本学の概要説明に加え、沖縄県出身の学生や卒業生によるプレゼン、また本学と会場とをZOOMでつなぎ沖縄県人会からメッセージを届けてもらい、本学の特色や魅力を伝えました。コロナ禍の中、参加していただいた高校生・保護者からは、「大学の雰囲気を体感できた」、「入学したい気持ちが高まった」などの評価をいただきました。

令和4年度 沖縄オープンキャンパス
開催予定日：令和4年6月25日(土)



第61回 芳藍祭



芳藍祭に日和ってる奴いる？いねえよなあ！！？

～ # 史上最強の藍を込めて～

本年度も、第61回 四国大学芳藍祭は新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響により、在学生・学内関係者のみの縮小開催となりました。前夜祭 企画イベント (THIS IS ME) では、パフォーマンス・ダンス・歌唱と各部門による発表があり、本祭では屋内発表、演技発表が行われ、熱の入った演技や展示で大学祭は大いに盛り上がりました。

今回の芳藍祭での各表彰・奨励賞の一覧は以下にて紹介させていただきます。

前夜祭 ▶ 令和3年11月12日(金)

開催日 ▶ 令和3年11月13日(土)～14日(日)

テーマ・サブテーマ発案者

文学部 日本文学科

3年 西崎みのり

表紙・ポスターデザイン発案者

生活科学部 生活科学科

4年 吉田美卯



総合部門 同窓会長賞 二大踊り

阿波踊り部



沖縄県人会



屋内発表 最優秀賞 人間生活科学科(養護) 3年



演技発表 最優秀賞 児童学科 4年



THIS IS ME. 前夜祭

パフォーマンス部門
HAPPY MAKERS



ダンス部門
JZ * ONE



歌唱部門
細川ファミリーズ



屋内発表 優秀賞 人間生活科学科 公認心理師コース



演技発表 優秀賞 軽音楽部



屋内発表 努力賞 人間生活科学科 3年



演技発表 努力賞 ジャグリング部



屋内発表 感動賞 書道部



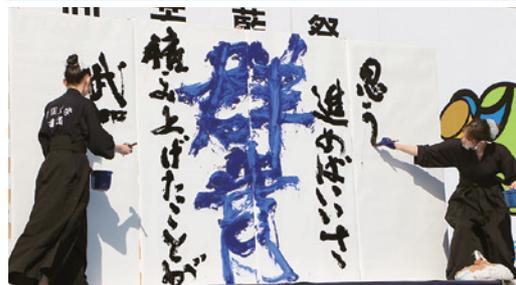
演技発表 感動賞 吹奏楽部



屋内発表 創作賞 管理栄養士養成課程 3年



演技発表 創作賞 書道部



スポーツ分野

各クラブの活躍

● 陸上競技部 ●

天皇賜杯 第90回日本学生陸上競技対校選手権大会 男子円盤投優勝(3連覇)！女子走幅跳第3位！

令和3年9月17日(金)～19日(日)に「天皇賜杯 第90回日本学生陸上競技対校選手権大会」が埼玉県で開催され、男子円盤投において幸長慎一(院・生活2)が優勝を果たし、3連覇を達成しました。また、男子砲丸投では第8位に入賞し、6年連続2種目入賞を果たしました。女子走幅跳では、主将の木村美海(メディア3)が第3位に入賞を果たし、この種目では本学初・自身初の全日本インカレ入賞を果たしました。



また、5月29日に行われた第2回徳島県チャレンジ記録会の円盤投において、幸長慎一が60m69の自己新記録をマークして学生初の60m越えで8年ぶりに日本学生新記録を更新、10月31日に行われた第10回徳島秋季カーニバルの走幅跳において、木村美海が6m21の自己新記録をマークして27年ぶりに中四国学生新記録を更新するなど、2つの新記録が誕生しました。



令和3年5月14日(金)～16日(日)に高知県で開催された「第75回中国四国学生陸上競技対校選手権大会」では、チーム一丸となって3種目優勝、17種目入賞を果たしました。



● 女子バレーボール部 ●

第57回 四国大学秋季リーグ戦

I部 3位

令和3年10月16日(土)～17日(日)に「第57回四国大学バレーボール秋季リーグ戦」が愛媛県で開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で今年度初めての大会となりましたが、I部3位という成績をおさめることができました。



また、11月23日(祝)に開催された令和3年度徳島県大学バレーボール秋季大会および12月12日(日)に開催された第75回多智花杯争奪6人制男女バレーボール大会において、いずれも5連覇(コロナ禍のため昨年の中止をさみ)を達成しました。

● ソフトテニス部 ●

秋季四国学生選手権、中国・四国学生選手権

男子の部：個人戦準優勝 女子の部：個人戦・団体戦優勝(4連覇)

令和3年10月28日(金)～31日(日)に「秋季四国学生選手権大会」が開催されました。男子の部ではシングル

スで北岡(経情1)、ダブルスで明石(メディア3)・武内(経情2)がそれぞれ準優勝を果たしました。女子の部ではシングルスで上田(管栄1)、ダブルスで上田(管栄1)・藤城(管栄2)、団体戦でそれぞれ優勝を果たし、4連覇を達成しました。

続いて11月5日(金)～8日(月)に開催された「中国・四国学生選手権」では、男子ダブルスで明石(メディア3)・武内(経情2)が前大会に続き準優勝を果たし、男子団体戦では3位入賞を果たしました。女子の部ではダブルスで上田(管栄1)・藤城(管栄2)が優勝し、団体戦においても優勝し、4連覇を達成しました。



● 女子ラグビー部 ●

国内最高峰「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2021」初参戦

令和3年5月から6月にかけて開催された女子ラグビー国内最高峰「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2021」に初参戦しました。東京都、静岡県、埼玉県、三重県の全国4箇所をサーキットした大会の総合成績は、参加12チーム中、11位という結果で目標としていた9位以内には届きませんでした。次年度は、今年度の経験を生かし必ず目標とする9位以内に入れるように頑張ります。



また11月から12月にかけて兵庫県、三重県で開催された「第24回女子ラグビーフットボール関西大会」では、15人制ラグビー初挑戦の大会でしたが、第3位という結果で終えることができました。

● 女子サッカー部 ●

第30回全日本大学女子サッカー選手権大会四国大会 優勝

令和3年10月9日(土)に徳島市球技場で「第30回全日本大学女子サッカー選手権大会四国大会」が行われました。四国大学が、徳島文理大学を1-0(0-0 1-0)で勝利し四国地域代表としてインカレ全国大会に出場することとなりました。



7年連続7回目の出場となる大会で目標であるベスト8を目指し、日々トレーニングに励んでいます。

● 弓道部 ●

第45回全日本学生弓道女子王座決定戦

優勝で日本一に!!

令和3年11月22日(月)～23日(火)に第45回全日本学生弓道女子王座決定戦が三重県伊勢神宮弓道場で開催され、女子団体【倉元(人間3)・中山綾(経情3)・中山亜(人間3)・岩根(人間3)・河井(経情3)】が中四国地区で男女通じて初めて優勝し、日本一の称号を獲得しました。

また、令和3年8月11日(水)～12日(木)に第69回全日本学生弓道選手権大会(全日本インカレ)(愛知県名古屋日本ガイシホール)で男子団体が全国ベス

ト16、女子団体が準優勝(2年連続入賞)、令和3年6月26日(土)～27日(日)に第33回全国大学弓道選抜大会(東京・明治神宮中央道場)で女子団体が第三位と全日本学生弓道連盟主催の3つの全国大会(選抜大会・インカレ・王座決定戦)において全て入賞することができました。



来年度も今年以上の成績を取めるのを目指して練習に取り組んでおり、今後益々の活躍が期待されます。

文化系クラブ・芸術分野での活躍

第75回徳島県美術展 デザイン部門

2021年10月3日(日)徳島県美術展 審査会において、下記の学生が受賞しました。

人間生活科学科デザインコース学生の4名受賞(特選・準特選・奨励賞)は今までになく、今後の活躍が期待されます。特選1席(県議会議長賞)小川さんの作品「never give up」は、「抜群に魅力ある作品であり、矢が体に突き刺さり傷を負いながらも意気揚々としている力強い馬の姿とタイトルに(コロナ禍に負けない)という強いメッセージ性を感じた」と審査員の高評価をいただきました。第2期のデザイン作品展は、10/13(水)～18(月)までの6日間、あわぎんホールで開催されました。

特選(徳島県議会議長賞)



小川 日菜
(デザイン1年)

準特選



坂田 七海
(デザイン3年)

奨励賞



栗飯原 稜
(デザイン3年)

奨励賞



山崎 百絵
(デザイン3年)

英語スピーチコンテスト

全在学生対象の第17回英語スピーチコンテスト「吉野川杯」および第12回英語レシテーションコンテスト「眉山杯」を、令和3年12月7日(火)、本学国際文化館L201(Zoom同時配信)にて開催しました。昨年に引き続き開催したスピーチコンテストに加え、今年は課題スクリプトを暗誦するレシテーション部門を復活させることができました。



今年もコロナ感染症対策として縮小開催となりましたが、Zoomでの聴衆も得て、全学より12名が日頃の練習の成果を披露し合い、選考の結果、各部門以下の学生が表彰されました。祝意を表すと同時に、参加者全員の今後一層の活躍を期待したいと思います。

スピーチコンテスト「吉野川杯」

- 第1位 Mr Hizkia N. C. Tarigan,
“Be Your Best Self”(国際2年)
第2位 Ms Mika Kurio,
“Don't Judge a Book by It's Cover”(国際3年)
第3位 Ms Nguyen Van Thanh,
“Palm Oil”(国際2年)

レシテーションコンテスト「眉山杯」

- 第1位 Ms Mei Kato,
“Is There a Santa Claus?”(児童2年)
第2位 Ms Nozomi Kawada,
“The Hill We Climb”(国際2年)
第3位 Ms Madoka Oki,
“The Hill We Climb”(生活4年)



第43回 徳島市学生生徒補導連絡協議会 体験発表会

文学部 国際文化学科 3年 越智 日和



私の大学時代の活動の7割は課外活動である。特に、大学入学後に所属したNPO法人の活動では、中高生を対象とした教育事業を担当し、中学生と一緒に考える町おこしや進路を考える高校生とのディスカッションイベントなど、事前準備や法人の組織運営に時間

と情熱を注いだ。

私は、高校時代に大学生の存在に感化され、「私ももっと面白い人に、自分を語ることができる人になりたい」と、留学に挑戦し、全国の同世代とつながる機会を求めようになった。また、NPOの活動を通して関わる中高生の成長を感じる喜びが活動の原動力となった。

人生を作る過程で、自分は何に心が躍り、どんな未来を実現させたいのか見つめることは大切だ。自分のやりたいことを見つけ、頭も心も体も動かし続けて「大学生時代のわたし」を積み上げられた私は、とても幸せ者であると感じている。

コロナ禍によって体験、人との出会い、学びの機会をつかむのが難しい状況ではあるが、心躍るものを共有し、励ましあい、人生を応援しあえる、そんな仲間の輪を広げていくことが、私にできることであり、時代に必要なことだと思う。残り少ない学生生活の中でたくさんの人に恩を返し、次の世代に恩贈りをし、心躍る未来をつくり続けていきたいと思う。



体験発表会

第19回 四国大学青春川柳コンクール

特別賞
(10句)

- 2021 四国大学青春川柳大賞
「好き」じゃない「推し」なんだよと熱弁す 鯨木 丞 ひ (東京都豊多摩高校)
- 四国大学学長賞
最後の夏新品の浴衣仕舞い込む 春名 凜 (高知県安芸高校)
- 四国大学理事長賞
帰り道流れる夕日に溺れかけ 富山 さくら (熊本県屋久島おおぞら高等学院)
- 四国大学副学長賞
『舟を編む』解いてる君は船を漕ぐ れ い (島根県開星高校)
- 四国大学文学部長賞
ほっといてだけどほんとは気にかけて 倉瀬 結菜 (愛媛県新居浜東高校)
「何したい？」それが無いから困ってる 鈴木 麻央 (高知県高岡高校)
- 四国大学学生支援担当部長賞
「遠くへは」止めるあなたに苦笑い 福井 利音 (徳島県勝町高校)
気がつけば湯船も母も小さくて た な か (東京都立教池袋高校)
- 四国大学図書館長賞
反射する水面を睨む飛び込み台 福永 凜乃 (徳島県板野高校)
入学式はじめましてリモートで クレオパトラ (兵庫県夙川高校)

新型コロナウイルス感染症に向き合う(第3報)

四国大学保健管理センター 磯谷 俊明

私が上記タイトルで第3報の原稿依頼を受けたのは、昨年暮れのちょうど徳島県の新型コロナウイルス新規感染者数が40日以上0を更新していた¹⁾(全国的にも激減していた)頃のことです。それが今年に入り正月が開けたとたんに、変異したオミクロン株(2021年11月、南アフリカで最初に報告)²⁾により、2月1日の時点で全国の感染者数は2,721,984人(全人口の2.2%)に達し³⁾、2月5日一日あたりの新規感染者数が全国で10万人を超えるなど、再び(六たび)爆発的な流行をみせています⁴⁾。本学においても、少数ながら、学生や教職員に感染者が出て、脅威がいよいよ身近にせまってきた感があります。

このオミクロン株感染の主な症状は、発熱、咳などの呼吸器症状、全身倦怠感、頭痛です²⁾。ワクチン接種の効果もあり、以前の株に比べて重症化しにくいですが、感染力が強いので、結局のところ、重症者や死亡者の総数は多くなります²⁾。無症状の感染者が知らず知らずのうちに感染を拡げてしまうのが特徴です。若い人が高齢者や基礎疾患のある人、一部の妊娠後期の人³⁾にうつさないことが大切です。

対策は、これまでと同様、①不要不急の外出自粛(感染した場合は、症状がなくても発症の2日前から発症後7-10日まで制限)、②3密(密閉・密集・密接)すべての回避(換気、黙食、ソーシャルディスタンス保持を含む)、③手洗い(アルコール消毒)・うがい・不織布マスク着用の励行、④健康観察票の記録、⑤症状出現時の受診(相談)と報告の遵守を継続していくことが求められます。加えて、感染を収束させるために、3回目のワクチン接種が推奨されます。Furukawaら⁵⁾の調査では、mRNAワクチン(モデル

ナ製とファイザー製のワクチン)接種後に、オミクロン株に対する抗体価が2回目接種7カ月後に比べて39倍に上昇していました。3回目が1・2回目と異なるワクチン(交互接種)でもかまいません(1・2回目がファイザー製で3回目がモデルナ製の場合に接種1カ月後の抗体価が最も高くなるという報告⁶⁾もあります)。副反応は、倦怠感や発熱の出現頻度が1・2回目より高い⁵⁾といわれています。

本学では、感染予防についての啓発動画の配信、3回目のワクチン職域接種を、近く実施予定です。私たち人類は、これまで地球上のあらゆる感染症を克服してきました。新型コロナウイルス感染症もまもなく終息すると確信します。あともう少し謙虚に辛抱強くがんばっていきましょう。

- 1) 徳島新聞 電子版(2021年12月25日)
(<https://www.topics.or.jp/articles/-/638676> <以下、閲覧日はすべて2022.02.18 >)
- 2) NHK 特設サイト 新型コロナウイルス
(<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/newvariant/>)
- 3) 厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の「いま」に関する11の知識(2022年2月版)」(<https://www.mhlw.go.jp/content/000788485.pdf>)
- 4) NHK 特設サイト 新型コロナウイルス (https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-all/#graph-infect-death_infect)
- 5) Furukawa K, et al: Acquired neutralizing breadth against SARS-CoV-2 variants including Omicron after three doses of mRNA COVID-19 vaccination and the vaccine efficacy. (査読前論文公開サイト medRxiv: <https://www.medrxiv.org/content/10.1101/2022.01.25.22269735v1.full-text>)
- 6) NHK 特設サイト 新型コロナウイルス
(<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220218/k10013490571000.html>)

キャリアセンターだより

コロナ禍での就職活動も2年目となり、採用する側もされる側も一定のノウハウを獲得しつつある昨今です。今後の就職活動においては、ウィズコロナ時代を見据えた対応が求められるという現実を直視しなければなりません。

(株)リクルートの就職みらい研究所により、「Web 経験者を中心にオンライン希望が増加。企業は目的に応じて手段の最適化を」との報告があります。就職活動のプロセスは対面がいいのか、オンラインがいいのか、採用活動を進める企業において議論が進んでいます。

2023年卒の学生に、就職活動の各プロセスについて対面、Webのどちらが良いかを調査しました。その結果、特に合同説明会（Web：51.0%、対面33.1%）、企業説明会（Web48.2%、対面：37.0%）でWeb希望者が対面希望を上回る結果がでてます。また、2022年卒と比較すると、アンケートでの他の実施項目である面接、最終面接を含めた全てのプロセスでWeb希望が増えていることがわかります。すでに経験者が一定数いるインターンシップで見ても、Webでの参加経験のある学生が、Web希望を引き上げている様子が見えます。

学生のコメントを見ても「オンラインは最初戸惑ったが、回数を重ねるごとに慣れていった」など、慣れに関する言葉も含まれているようです。オンラインでの就職活動はこの2年で急拡大しました。その結果、その期間にどれだけオンラインでのコミュニケーションを経験しているかが、採否に影響を及ぼす可能性も否定できません。

本学においては、学生の利便性を考えてキャリアセンターにWeb面接に使える部屋を3室用意しておりますので、有効に利用していただきたいと思っております。また、パソコンを利用した「Web面接対策講座」を実施するとともに、実施マニュアルも準備しています。この時代の大学生の必須スキルをしっかり身に付け、就職活動を迎えてもらいたいと思っております。

また、今年の採用動向の特徴として、年度末まで多くの企業が採用活動を継続したことがあげられます。例年は求人が大きく減少する11月以降にも、多くの企業が求人を継続しておりました。企業の採用担当者に話を聞くと、従来よりも内定辞退者が多く、その補充のために継続しているとのことであります。最近の傾向として、学生の「二極化」があります。「二極化」とは、内定を得られる学生とそうでない学生の二極化が問題となっていることです。新型コロナウイルス以前からの傾向ではありませんが、キャリア意識が高く早くから就職活動をしていた学生は、複数社から内定を得る傾向が強いという事実があります。そのような学生の内定辞退が多く、欠員が発生しているとのことであります。その結果として、最後まで粘り強く活動を継続することが、最後の勝者となる秘訣です。

このような時代の変化に柔軟に対応し、希望企業への内定を得るためにしていただきたいことがあります。それは、就職キャリア支援課が行うガイダンスやセミナーにすべて参加することです。就活生として、どのように準備し、どのように行動するのか、具体的な動き方を学ぶのが、就職キャリア支援課が行うガイダンスやセミナーです。また、就職に関する相談や悩みは、個別にキャリアセンター職員、キャリア相談員（公認心理士・臨床心理士・キャリアカウンセラー）がお答えします。

次の別表には、令和3年度に実施した主な就職支援関係行事を示しています。その中から3つピックアップしてその内容を簡単に紹介します。

(別表) 就職支援関係行事

月	行 事
4月	学年別オリエンテーション
5月	第1回就職ガイダンス
	インターンシップセミナー①
6月	公務員対策ガイダンス
7月	自己分析講座
	インターンシップセミナー②
8月	SPI対策講座①、②
9月	教員・公務員対策夏季特別講座
	業界・就職・企業研究セミナー
10月	教員対策ガイダンス
	第2回就職ガイダンス
	第1回四国大学ジョブセミナー
11月	自己PR作成講座
	学内企業研究会事前セミナー
	第2回四国大学ジョブセミナー
12月	学内企業研究会
	就活応援セミナー(Web面接対策講座)
1月	第3回就職ガイダンス(就活直前)
2月	教員・公務員対策春季特別講座
	グループディスカッション・集団面接対策講座
	就活直前セミナー
3月	就活トライツアー

◇就職ガイダンス

就職準備を円滑に進めるために、年3回開催しています。5月19日には就職活動の概要、10月13日には業界・企業研究の再点検、1月19日には本番直前ファイナルチェックなど、各時期に応じて学生が準備すべきことを説明しました。



◇学内企業研究会(実施日:12月1日)

学生の業界・職種・企業研究をより一層深めるために、毎年実施しています。今年度の実施については、コロナ禍での2年目の開催となりましたが、感染対策を徹底して実施しました。本年度も各企業の仕事内容説明の後質疑応答が行われ、充実した研究会となりました。なお、参加事業所は90事業所、参加学生数は312名でした。



◇就活応援セミナー(Web面接対策講座)(実施日:12月15日)

近年の就職活動において、オンラインの利用は不可欠となっています。また、Web面接により選考を行う企業も増えてきています。今年は実際に自分の顔をパソコンに映し、講師の指導のもと実施しました。各学科より45名の学生が参加し、マイクやカメラの使い方について学びました。



私たちキャリアセンター職員は、皆さん全員が希望の進路に進めるよう日々支援を惜しみません。もし、進路選択で分からないことがあったり、就職活動に行き詰まったり悩んだりしたときは、是非A館2階のキャリアセンターに足を運んでください。

「きみのやる気を応援します！」

令和3年度 四国大学学生プロジェクト支援事業 (学生GP)

令和3年度学生プロジェクト支援事業に、昨年の応募数を上回る18件の応募がありました。書類審査、ヒアリングの結果、15件のプロジェクトが採択されました。前期にて活動を終了した短期プロジェクト「遊んで学ぼう、鮎喰川。2021」および「とくしま郷土料理アップデートプロジェクト！」の2件は芳藍祭期間中にパネル展示による活動報告をし、その他13件も中間報告を行いました。

新型コロナウイルスの影響で前期期間は計画通りに活動できない中、各グループは感染対策に気を配りながら当初の目的を果たすべく活動し、教育・研究や地域貢献など多岐に渡る分野で活動に取り組んでいます。今後も長期プロジェクト13件は活動を続け、令和4年4月19日(火)に本学の共通講義棟において活動報告会を開催する予定です。



R3 学生 GP 認証式



動画で伝えよう音楽科の魅力



書道で繋がる地域の輪



考えよう「わたし」の防災!

◆ 四国大学後援会評議員会開催 ◆

11月12日(金) 令和3年度後援会評議員会が、会長をはじめ評議員9名、大学側から松重学長他関係者10名の出席のもと本館3階特別会議室にて開催されました。議事では、①令和2年度決算報告②令和3年度予算案③役員改選④総会開催についてが審議されました。役員改選では、評議員の交代ならびに人事異動に伴い、新たに幹事の就任がありました。総会開催については、今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策のため毎年11月の芳藍祭期間中に開催している対面での開催は見送ることとなりました。その他の審議事項については原案どおり承認されました。役員からは後援会に寄せる活発なご意見をいただき盛會裡に終了しました。



2022 SHIKOKU UNIVERSITY | OPEN CAMPUS 2022

OPEN CAMPUS

見つけよう君の未来!

第1回 4.23 sat	第2回 6.12 sun	第3回 7.10 sun	第4回 7.31 sun	第5回 8.20 sat	第6回 9.11 sun
--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

開催時間 / 10:00-16:00

文学部 国文学部 国文学部 国文学部	経営情報学部 経営情報学部 メディア情報学部	生活科学部 生活科学部 生活科学部 生活科学部	看護学部 看護学部	短期大学部 短期大学部 短期大学部 短期大学部
-----------------------------	------------------------------	----------------------------------	--------------	----------------------------------

四国大学 広報課
0120-65-9906

参加希望日の演劇の会場日までに、ホームページまたはお電話にて、お申し込みください。